

パワーリベラメンテ導入記(2)
—PC オーディオ入力系のタップへの導入—

1. 始めに

パワーリベラメンテの効果の評価の第一弾として PC オーディオ入力系のタップの導入を行いました。

2. パワーリベラメンテの効果の試聴方法

前報(1)で述べたように、チクマのタップと業務用アイソレーショントランス (Star Electric 製 Star-Trans F) の間をずっと以前に購入したオーディオグレードの電源ケーブル (KIMBER 製) からパワーリベラメンテに取り替えて接続し、さらにチクマのタップから一般家電用のタップの電源を供給しています。

試聴対象は、ベルリンフィルの Digital Concert Hall のストリーミング再生、CD のリアルタイム DSD 変換再生およびデジタル音楽ファイルの DSD Native 再生です。
ストリーミング再生

【PC】→micro iDSD→【DA-3000(44.1KHz)】→【MYTEK DIGITAL 192-DSD (DA-3000 からクロック供給)】→ {プリ}

CD 再生

「Plextor Premium 2U」→「ES-OT4」→【PC】→micro iDSD→【DA-3000(44.1KHz)】→【MYTEK DIGITAL 192-DSD】→ {プリ}

デジタル音楽ファイル再生

「HD-LSU2D」→「ES-OT4」→【PC】→micro iDSD→【DA-3000(44.1KHz)】→【MYTEK DIGITAL 192-DSD (DA-3000 からクロック供給)】→ {プリ}

ここで電源供給の状況を説明しておきます。

【 】: パワーリベラメンテ接続チクマタップから供給

「 」: パワーリベラメンテ接続チクマタップから 2 次供給の一般家電用タップから供給

{ } : 別系統のパワーリベラメンテ接続アナログ入力系チクマタップから供給

なお、DA-3000 には ABS-7777 からクロックを供給していますが、これにはパワーリベラメンテは関係していません。また、micro iDSD は内臓の Li バッテリー電源です。

チクマのタップはポリエステルウールとコルクで床から浮かし、一般家電用タップはポリエステルウールで黒御影石のベースから浮かしています。



チクマ製タップ

- ①パワーリベラメンテ
- ②交換前電源ケーブル
- ③一般家電用タップへの供給



一般家電用タップ

3. パワーリベラメンテの効果の試聴結果

PCを含むデジタル系への電源供給のタップのケーブル交換では、DSD音源のNative再生、CDのリアルタイムDSD変換再生、ベルリンフィルのDigital Concert Hallの再生のいずれも驚くような効果を認めました。

特に注目すべきは、ベルリンフィルのDigital Concert Hallの再生でベルリンフィル大ホールの雰囲気そのまま出ているようで、実際にホールでないと聴けないようなグランカッサやコントラバスの弱音のニュアンスまで分かるようになってきました。HQPlayerによるCDのリアルタイムDSD変換再生では難物のイザイの無伴奏ソナタなども透明度が高まり、細かいニュアンスが十分に表現されます。大編成オーケストラではこれまでに聴いたことのない音の分離と溶け合いの上に迫力ある再生が楽しめます。外付けHDDからのDSD音源のHQPlayerによるNative再生では、DSDの魅力がさらに増したようです。しかしながら他の再生ルートグレードの向上が大きいことからあたかもDSD Native再生の価値が相対的に低下したような印象すら感じさせます。

4. まとめ

PC を再生ツールとして使用する再生方法においてパワーリベラメンテの顕著な効果が認められました。間接的な効果となるタップへの電源ケーブルの交換だけでこれだけの効果はあるとは正直予想していませんでした。各機器に直接パワーリベラメンテに給電する場合の効果が想像されます。

以上